

連絡事項：古宮（佐賀関フェリー乗場）で有害種のシャトネラが警戒密度を超えて確認され、大在～日代の広い調査点にかけても確認されました。また、三つ子養殖場10m層で、有害種のカレニア ミキモイが注意密度を超えて確認されました。また、臼杵湾の他の地点でもカレニア ミキモイが確認されており分布域が拡大する恐れがあります。魚介類の管理にはくれぐれもご注意ください。

表1 臼杵湾赤潮プランクトン調査結果(R5.7.26)

単位：細胞数／c c

採集地点	調査時間	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	溶存酸素 (mg/l)	シャトネラ spp.	カレニア ミキモイ	ヘテロシグマ アカシオ	ゴニオラックス ポリグラマ
1. 大在	8:40	0	25.7	—	—	41	0	0	0
2. 神崎	8:54	0	26.0	—	—	4	1	0	0
3. 古宮	9:09	0	25.7	—	—	224	0	0	0
4. 一尺屋	9:25	0	23.4	—	—	5	1	0	0
5. 下の江	9:45	0	23.4	32.80	7.0	1	2	1	0
		5	22.3	32.83	7.1	2	4	0	0
6. 下の江（奥）	9:49	0	24.1	32.69	6.8	1	1	0	0
		8	22.1	32.87	6.9	1	0	0	0
7. 日ノ浦	10:11	0	23.1	32.83	7.1	0	1	0	0
		5	22.4	32.82	7.0	0	2	0	1
8. 三つ子養殖場 大分みらい水産	9:59	0	23.5	32.75	6.7	0	2	0	0
		10	21.8	32.90	6.5	1	28	0	0
9. 三つ子養殖場 臼杵海産	9:56	0	22.6	32.79	7.0	1	2	0	0
		10	21.7	32.92	6.3	0	234	0	0
10. 三つ子養殖場沖	10:05	0	22.2	32.81	6.7	0	1	0	0
		5	21.6	32.87	6.6	0	0	0	0
11. 日代	11:02	0	25.8	—	—	3	0	0	0

※地点1～11において中部振興局採水・検鏡
参考：赤潮注意・警戒密度（単位：細胞数／c c）

赤潮プランクトン	注意密度	警戒密度
シャトネラ spp.	10以上	100以上
ヘテロシグマ・アカシオ	5000以上	50000以上
カレニア・ミキモイ	200以上	2000以上
コックロデニウム・ホリクイコイデス	30以上	300以上

* 警戒密度は漁業被害が想定される密度です。

* マグロに関しては、赤潮注意・警戒密度に1/10を乗じた細胞密度とする。

